

Macのオンボーディング チェックリスト:

設定業務をスムーズに進めるために

組織にMacを導入するのは、決して難しくありません。
IT部門の業務フローを自動化し、時間を節約しましょう。

新しいモバイルデバイス管理 (MDM) ソリューションの設定からデバイスの更新、新規採用した従業員のオンボーディングに至るまで、Macデバイスのオンボーディングはわかりやすいに越したことはありません。Jamfは、そのわかりやすいオンボーディングプロセスの実現をサポートします。具体的な方法を見ていきましょう。



🔧 ステップ1: 準備

導入を成功に導く鍵は、入念な準備にあります。オンボーディングプロセスを始めるにあたっては、必要なツール、ソフトウェア、ポリシーを揃えておくことが非常に重要です。

- ✓ 組織のポリシーと権限を定義する
- ✓ ハードウェアとソフトウェアの互換性を確認する
- ✓ ユーザーアカウントを作成し、ユーザの役割に応じた権限を設定する

🕒 ステップ2: 設定および構成

JamfをはじめとするMDMには、オンボーディングプロセスの時間を節約できる自動化機能が備わっています。デバイスのアップデートの時間をさらに短縮するのであれば、宣言型デバイス管理を活用することも検討しましょう。このステップは、Appleデバイスのセキュリティ機能を利用しつつ、自社独自のセキュリティプロトコルにも対応していくうえで重要です。

- ✓ MDMでデバイスを自動プロビジョニングする
- ✓ 業務に不可欠なアプリやアップデートをインストールする
- ✓ エンドユーザーポータルを展開する
- ✓ FileVault、Gatekeeper、パスワードポリシーなどのセキュリティ設定を構成する (追加の保護措置があれば、それも構成する)

🔍 ステップ3: テスト

設定を済ませたら、エンドユーザのデバイスに展開する前に設定を検証しておくことが理想です。また、セキュリティ脆弱性や構成ミスが放置されることのないよう、プロファイルを定期的に監査することも大切です。

- ✓ アプリやシステム機能を検証する
- ✓ セキュリティ監査を実施する

👤+ ステップ4: ユーザへの展開とスムーズな導入支援

ユーザがデバイスを使用する前に必要な操作を明確におきましょう。ライブ形式のユーザトレーニングを実施することで、必要な手順を実演しながら、潜在的なトラブルにもその場で対応できるようになります。そのようにしておけば、管理者とエンドユーザのどちらにとってもスムーズなオンボーディングにつながります。

- ✓ ユーザにわかりやすい指示書を提供する
- ✓ オンボーディングセッションを開催し、質問やトラブルシューティングに対応する

Macの管理とセキュリティ運用をスムーズに

業務用Macを最大限活用するなら、Jamfにお任せください。ゼロタッチ導入で、Macのオンボーディングを効率化します。また、内蔵されたセキュリティ機能と管理機能で、導入初日からデバイスのコンプライアンスとセキュリティを確保します。

